

平成 18 年 8 月 25 日

各 位

株式会社インターネット総合研究所  
代表取締役所長 藤原 洋  
東京証券取引所 マザーズ 4741

**平成 18 年 6 月期連結決算、既存子会社の成長と IXI の連結子会社化により  
前期比大幅増加**

~売上高 683 億 66 百万円、営業利益 34 億 87 百万円、経常利益 33 億 54 百万円、当期純利益 30 億 92 百万円~

株式会社インターネット総合研究所（本社：東京都新宿区、代表取締役所長：藤原 洋）の平成 18 年 6 月期（平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）の連結決算をお知らせいたします。

当期においては、ブロードバンド環境の本格的普及、ユビキタス化の流れの中で、当社グループは、エンタープライズ（一般事業会社）への事業展開を中心に、動画コンテンツ配信事業、次世代無線ブロードバンド「WiMAX」支援事業等に力を入れました。

IP ネットワーク事業においては、株式会社ブロードバンドタワー（BBTower）のデータセンターおよびブロードバンド配信事業、株式会社プロデュース・オン・デマンド（PoD）のストリーミング配信事業、株式会社 IRI コマース&テクノロジー（IRI-CT）のメディア事業等が、それぞれ前期を上回る業績を達成しました。IP プラットフォーム事業においては、株式会社 IRI ユビテック（IRI ユビテック）の次世代無線ブロードバンド「WiMAX」のネットワーク支援事業のネットワーク設計・構築コンサルティングが大幅に業績を拡大しました。一方、IP エンタープライズ事業においては、地理情報システム技術を核として情報系システムの企画・設計・開発事業を営む株式会社アイ・エクス・アイ（IXI）が、営業体制の強化を行うと共に需要が旺盛な物流分野において好調に受注を獲得し、期初の業績予想を大幅に上回りました。

以上の結果、当期における当社の連結売上高は、IXI をはじめとする当社グループ各社の業績好調により、683 億 66 百万円（前年同期比 263.2%増加）となりました。連結営業利益は、IXI の子会社化に伴う暖簾代償却費用や広告宣伝費等の販管費の増加があったものの、前述のグループ各社の売上高増加により、34 億 87 百万円（同 667.3%増加）、連結経常利益は、33 億 54 百万円（同 540.5%増加）となりました。

連結当期純利益につきましては、株式会社 IRI コミュニケーションズ（IRI-Com、現株式会社ブロードバンドセキュリティ）の取引先である平成電電株式会社（平成電電）の平成 17 年 10 月の民事再生手続開始申立てに伴い、当社は平成電電に対する売掛金等の貸倒損失、保有関連株式の評価損、保証債務引当等の処理を行い、IRI-Com においてはコア事業へ集中するために、平成 18 年 1 月に VAS 事業を譲渡し、これを営業権譲渡損として計上し、これらを併せて特別損失に計上しました。また、IRI-Com はこの影響で実質債務超過に至ったため、当社は、親会社としての然るべき支援や対策をとってきた結果、平成 18 年 5 月 29 日をもって IRI-Com の減資、当社保有の IRI-Com 株式の IRI-Com への全株式無償譲渡、IRI-Com の財務体質を改善するための債権（貸付金）の一部放棄を実施いたしました。一方、当社は IRI-Com に対する再建支援にかかわる資金確保の目的で BBTower の株式一部売却し、また、IRI ユビテックの株式分布状況改善のために同社株式一部売却したことで売却益等約 71 億円を特別利益に計上しました。

以上の結果、連結当期純利益は、30 億 92 百万円（同 432.2%増加）となりました。

平成 19 年 6 月期の連結業績見込みにつきましては、IXI の業績見込みを反映し、売上高 605 億円、営業利益 26 億円、経常利益 29.2 億円、当期純利益 3.2 億円となる見込みです。

以 上

本件に関するお問合せ

株式会社インターネット総合研究所 所長室 広報・IR 担当  
TEL:03-5908-0711 FAX:03-5908-0719